

# 3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2020年6月25日(木) No.7



## 第1回実力テストの講評

《6月17日(水)テスト実施》

各教科の先生からの講評です。テストを振り返る反省に、次の学習の参考にしましょう。

各教科からの講評	
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字は小学校までに学習したものを出题しました。 ×新乾線→○新幹線、×楽語→○落語、 ○「祝」しめすへん→×「㊦」ころもへん という間違いが多かったです。漢字の問題は、大きく楷書で書きましょう。</li> <li>説明的文章・短歌・古文は、問題数をこなすことで力が付いてきます。まずは、「3年間の総まとめ問題集」をしっかりと自力で解きましょう。そして、最低2～3回はやり直しましょう。</li> <li>宿題の「天声人語」をただ機械的に取り組むのではなく、語句や文章を理解しようとしながら書いて、読解力を身につけていきましょう。「継続は力なり」です!!</li> </ul>
社会	<p>初めての実力テストどうでしたか？満足いく結果でしたか？ 先生からのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会科の問題パターンは一緒です。量をこなしましょう。問題の数をこなすことで実力がついていきます。正しく語句を書けることが求められています。</li> <li>次に問題をしっかりと読むこと。何を問われているか理解する力が必要です。特に、今回の大問⑧は資料を見て答える問題でした。様々な情報を処理する力を養うには、普段の授業が大切です。常にアンテナを高く持ち、文章を読む力、計算する力、判断する力・・・朝読、他教科、週末課題、与えられた課題を一生懸命頑張っていくことで力がつきます。</li> </ul> <p>今後のみなさんに期待します。</p>

数学	<p>正負の計算や方程式、グラフ、図形、証明、確率。数学の実力テストは、とても広い範囲から少しずつ出題されます。テストが返却されたとき「これできたのに・・・」と思う問題はなかったですか？</p> <p>計算の仕方や公式をきっちり覚えておきましょう。ここから、受験本番に向けて多くの問題をやっていくこと。自分の知識を引き出せるように練習が必要です。それには、まず自分にあった難易からスタートしましょう。</p> <p>毎日の積み重ねが未来を変えます。がんばりましょう!!</p>
理科	<p>長文の出題もありました。理科は、問題文をきちんと読み、ヒントになるキーワードを文中やまわりの図から見つけることです。また、表やグラフからも読み取れるようにしましょう。</p> <p>今回、電流やオームの法則、気体の特徴と気体の発生方法のところで、特に多くの人々が難しさやつまづきを感じていたように思います。復習しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「3年間の総まとめ問題集(理科)」や白プリをくりかえし解き、必ず答え合わせとおなおしをしましょう。説明して答える問題にも、理科の答えに適した表現があります。</li> <li>理科学用語を自分で整理して、覚えましょう。使う漢字を間違えたまま覚えていませんか？</li> <li>文章を読み、理解する力、計算を正確に早くできる力を普段の学習生活から意識してがんばりましょう。</li> </ul>
英語	<p>テスト範囲がない試験は、難しかったと思います。定期テストとは、勉強の仕方を変えましょう。</p> <p>実力テストや受験勉強の仕方は、「ぎゅぎゅっと問題集」を何度も解くことです。中学校で学ぶべき内容が、1冊にまとめられています。完璧に覚えるまでは他のものに手を出さず、この1冊を何度も繰り返してください。完璧に覚えるまでは、20回でも30回でもやりましょう。また、単語は、「ぎゅぎゅっと」の最後についてある「重要単語700」を覚えましょう。</p> <p>当然ですが、そのためにはテスト前だけの勉強では、到底時間が足りません。普段から時間を決めて、勉強する習慣を身につけてください。宿題の時間だけでなく、自分で勉強をする時間を作ってください。今回の悔しかった気持ちをこれからのパワーに変えましょう!</p>

※裏に、今回の実力テストの度数分布表があります。